



令和2年度「特色ある学校づくり対策事業」

佐世保市立早岐小学校

創立 明治7年（145年目）

所在地 佐世保市早岐2丁目32番12号

校長 古賀 和重

児童数 675名 学級数 25学級

（R2年 5.1現在）

つながる心をもち夢に向かってがんばる子どもの育成

目 的

- （1）「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう姿勢」を意識した教育課程を編成し、子どもたちの学力向上を目指す。
- （2）地域とともに歩む学校づくりに沿った教育課程を実施し、子どもたちに地域を知り、地域の教育力を活用した学習に取り組みさせる。
- （3）国語科の学習を基盤とした主題研究の充実を図り、学力向上を図る。
- （4）主題研究以外の指導力向上研修の 実施し、学力の向上を図る。
- （5）各学級の実態が生かされた学年の 統一性のある学年・学級経営を行い支持的風土のある雰囲気醸成させていく。
- （6）潤いのある教育環境と温かい人間関係の醸成に取り組み、心豊かな子どもの育成を図る。

運 営

本年度の早岐小学校教育目標である『つながる心をもち夢に向かってがんばる子どもの育成』を受け、特色ある学校づくりのテーマを『自ら学び、学びを試し生かす児童の育成』とした。

本校の特色は、長い歴史に育まれた地域性や、豊かな自然である。これらを生かすため、児童の発達段階や興味・関心に基づいて、右の図のような様々な取組を行う。そうすることによって、児童は自らを学び、自らを試し、生かす豊かな体験や人や自然とのつながりを学ぶことができる。



活動の実際

道具づくりと遊び体験

1年生がシャボン玉遊びの道具づくり及び遊び体験をと
おして、そのおもしろさに気づき、その活動を通して友達
と仲良くできた。



教材開発

定期的に「校内漢字検定」を行う日を設定して、実施し
た。合格シール等を配付し児童の意欲を高めた。また、年
間2回、日本漢字能力検定協会主催の「漢字検定」を本校
でも実施した。



ふるさと学習



3年生が「早岐瀬戸遺跡」について、見学やインタビュー
をとおして学習した。採掘作業をされている方々から遺跡に
ついて教えていただき、体験学習を行った。また、校区内の
寺や神社などの史跡を巡ったりすることを中心にして郷土へ
の関心を高めた。例年は古くから伝わる「早岐茶市」を見学
しているが、本年は開催されなかった。

栽培活動

季節ごとに花や野菜を育て、毎日の水やりや成長の記録を行った。野菜が収穫できた時
や花が咲いた時には、子ども達は生命のすばらしさを感じることができた。栽培活動によ
って、年間を通して植物にふれあう時間が増え、情操を豊かにできた。

福祉教育



社会福祉にかかわるG Tを招き、話を聞いたり、車いす体験やアイマスク体験を行ったりした。また、障がいをもった方の話を聞くことを通して自分たちができることを考え、実行した。



キャリア教育

浴衣の着付けの講師を招き、着物の良さについて話を聞いたり、実際に一人一人浴衣の着付けをしたりした。浴衣を着る経験も年々少なくなってきており、「衣」を通して、日本の伝統的な所作に関心や興味をもつことができた。



「話芸の三きょうだい」

(令和2年度文化芸術による子供育成総合事業)

日本の一流の文化芸術団体による「舞台芸術」を鑑賞する機会を得た。歴史ある日本の話芸、落語・講談・浪曲の本物の実演を目の前で見ることができた。ワークショップでは、実演指導、鑑賞指導もあり、代表児童が指導を受けながら実演を行った。言葉だけの迫力を実感することができた。



環境教育

学校版環境ISOを取得し、環境委員会を中心に節水や節電に取り組んだ。今年は、10年間の取組が評価され、「エコマイスタースクール」に認定され、表彰された。今後の活動の励みになった。



平和学習



4年生の児童が、長崎原爆を中心に「平和」について学習した。実際に原爆資料館や平和公園を訪れ、全校児童の願いがこもった千羽鶴を奉納した。見学後は、学習して分かったことをまとめて、学級で発表を行った。この学習を通して平和な世界を願う気持ちや態度を育成した。



学力向上

1年生において学力調査を行い、一人一人の学力と指導の成果を検証した。今後、実態に応じた指導を図り、学力の向上につなげていく。また、「スマート・スクール・SASEBO 構想」を活用し、春休みにはタブレットを持ち帰らせ、家庭学習の充実と教育の情報化を推進する。